

# 富士北麓地域におけるスイートコーンを基幹とした3作1回施肥

【特徴】冷涼な富士北麓地域でも野菜の3作栽培が可能となり、さらに労働時間や施肥コストも削減できる施肥方法を開発

【活用が見込まれる分野】

富士山野菜生産農家など

実用化実績 : 有  
現 状 : 普及している

【効果】

富士北麓地域でスイートコーン基幹しても同一圃場で3作栽培が可能

収益向上  
土地生産性向上

労働時間36時間/10a削減

省力・低コスト

肥料コスト13,000円/10a削減

窒素施肥量30%削減

環境保全

【技術内容】

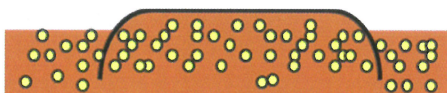
## ① 同じマルチを3作使う

・マルチ代の節約 ・マルチの張り替えをしなくても良いのですぐに次作が植えられる。

| 1月 | 2月 | 3月           | 4月 | 5月 | 6月 | 7月            | 8月 | 9月 | 10月          | 11月 |
|----|----|--------------|----|----|----|---------------|----|----|--------------|-----|
|    | 施肥 | 1作<br>ブロッコリー |    |    |    | 2作<br>スイートコーン |    |    | 3作<br>ブロッコリー |     |

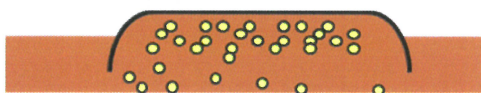
## ② 肥料はマルチの下に施用する

・肥料が流れにくいので、少ない肥料でもよい



慣行施肥

通路部分の肥料が流れやすい



マルチ内施肥

根の周辺に施肥するので、肥料が利用されやすい

## ③ 数種の肥効調節型肥料 (ゆっくり効く肥料) ブレンドする

・生育にあった肥料が出てくるので、追肥しなくてもよく、少ない肥料でよい



この研究成果を基に開発市販された肥